

館中

地域見守る交流の架け橋



これがイチオシ

防災訓練 3年ぶり開催

館中学校では、地域防災訓練や落ち葉拾いなどの活動を通して、館小学校や東北高校、館地区の方々との交流を深めてきました。しかし、新型コロナウイルスの影響で交流ができなくなっていました。

そこで、「感染対策の徹底」を約束して、3年ぶりに地域防災訓練を開催しました。地域の方々と一緒に、実践に近い形での訓練の中で、災害時の対応について学ぶことができました。今後も伝統を受け継ぎ、地域の交流を深める活動を行っていきます。

学校名 仙台市立館中学校
所在地 仙台市泉区館6の17の1
創立 1996年
電話 022(379)6987
校長 渡部 智之
生徒 192人

校内活動支えるキャラ
館中学校には、「やかたぬき」というタヌキをモチーフにしたオリジナルキャラクターがいます。生徒会執行部が制作した日めくりカレンダーにもあしらわれ、毎朝昇降口で私たちのことを出迎えてくれます。10年以上前に誕生したやかたぬきは、ごみ拾い登校のボランティア「チリトリーズ」や、雪かきのボランティア「雪トリーズ」のマスコットとしても校内活動を支えてくれます。しかし、新型コロナウイルスの影響で、ボランティアの活動ができません。また、館小学校には「やかたぬきジュニア」という名前であらわれて、交流の架け橋となっていました。やかたぬきは館地区の子どもたちを常に見守っています。

やかたぬきの日めくりカレンダーと生徒たち(上)、感染対策をアドバイスするやかたぬき(右下)、3年生への卒業記念品(左下)



編集委員 千葉綾子、今野来美愛、増田笑華、阿部孝哉、栗山正大(3年)
田中嘉曜、佐野蒼河、阿部美月、砂川風雅(2年)
指導教員 藤原祐二、岩崎秀徳、門間祐太

校内活動支えるキャラ

わが校わがまち スクール通信



今回は 米谷小(登米市) 東向陽台中(富谷市)

優しい心と笑顔が広がる

鹿折小



これがイチオシ

海に親しみ共に生きる

鹿折小学校では、海に親しみながら共に生きる学習に取り組んでいます。1、2年生は波と戯れたり海の生き物を観察したりします。3年生以上は探究活動として学びます。

学年ごとのテーマは、3年「鹿折の宝～人・自然・ものを見つけよう～」、4年「山・川・里・海の生命をつなぐ鹿折川」、5年「世界とつながるぼくらの海郷学」、6年「海で復興『気仙沼の魅力』発信プロジェクト」です。海を知り、守り、海と生きていくために学び続けます。

学校名 気仙沼市立鹿折小学校
所在地 気仙沼市西八幡町54の1
創立 1873年
電話 0226(22)6876
校長 小野寺 裕史
児童 182人

SDGsの実践目指す

鹿折小学校では、SDGs(持続可能な開発目標)について学びながら実践することを目指しています。各委員会を中心に、小さな事でも生活の中でできることを探して活動しています。計画委員会が取り組む「あいさつ運動」は、縦割り班で交代して、登校するみんなに気持ちの良い元気なあいさつをしています。委員会では、書き損じのガキを集めて、気仙沼ユネスコ協会に届け、ワクチンや文房具で困っています。

JRC(青少年赤十字)委員会では、書き損じのガキを集めて、気仙沼ユネスコ協会に届け、ワクチンや文房具で困っています。また、「ありがとう」と思うことを見つけて、カードに書き、昼の校内放送で紹介しています。保健・給食委員会は毎月、「完食調べ」を1週間行い、食べ残しをなくすように呼びかけています。5、6年生は毎月17日「家庭科とSDGs」という課題に取り組み、ミニレポートを発表しています。SDGsの実践活動を通して、校内に優しい気持ちと笑顔が広がっています。

SDGsの実践に取り組み、優しい気持ち広がっています



編集委員 愛田優愛、尾形碧乃、小野寺暁里、小野寺泉帆、金野映、半沢和奏(6年) 指導教員 千葉順子